

㈱オハラにおける健康づくり概要

< ㈱オハラについて >

昭和10年 東京蒲田に(株)小原光学硝子製作所として創業

昭和19年 相模原市に移転

昭和60年 (株)オハラと社名変更し現在に至る

製造製品: カメラや顕微鏡、ビデオ機器等のレンズに使用される
光学ガラスの他、天体望遠鏡部材として使用される特殊
ガラス・セラミックス等



「環境にやさしい素材と技術で未来を想像する」をテーマに多分野に貢献に出来る開発型素材メーカーを目指しています。従業員数は約430名です。

< 安全衛生管理体制 >

安全衛生担当部署は環境安全課と人事課です。安全衛生スタッフは、安全管理者が11名、衛生管理者が2名です。また、従業員の健康管理のため、月に一回、嘱託の産業医とメンタル医がそれぞれ来社しています。

< 作業・作業環境対策 >

・熱中症対策

オハラでは、ガラスの熔解作業や身体労作により多量の発汗を伴う職場があります。そのため、熱中症の発生が危惧されています。対策として、熱中症予防教育の実施や、夏期シーズン中はWBGT値を測定と配信、職場の作業度と暑さに合わせてサプリメント支給・調整を実施しています。

・有害物による健康被害対策

防塵・防毒マスクのフィットテストを1回/年、保護具業者の協賛のもと実施しています。装着技術確認と教育を見直す機会となっています。

< 救命救急講習会の実施 >

年に二回、定期的にAED講習会を社内にて実施しています。実際にオハラで設置している機械モデルを使用し、いずれは、全社員が講習を受講し、AED使用に対する知識を身に着ける事が目標です。

< 生活習慣病対策 >

生活習慣病予防のため、40歳以上の5歳刻みで人間ドックを実施しています。また、健診受診者のうち、将来的に生活習慣病のリスクが高いと考えられる者、要精密検査者を対象に面談や受診勧奨、保健指導を行っています。

< ノーカーデー実施 >

1回/月車通勤以外での通勤を推奨しています。工場の立地上、車通勤の従業員が多いですが、排気ガス削減と同時に健康増進にも効果的な習慣行事となっています。

< 海外派遣者健康管理 >

1回/2月、疲労調査と健康情報を配信しています。海外での体調不良や生活習慣病の発症を未然に防ぐことを目標に、自己健康チェックを含め、赴任先での生活状況に合わせた内容での配信を心がけています。

< 過重労働対策 >

超過勤務者のうち、一定の社内基準を超過した者に対しては、疲労調査アンケートとチェックリスト配布し、必要時面談を実施しています。管理職も、疲労調査対象です。

業務が多忙なため、調査票の回答や面談が困難な事が多いですが、心身の不調の早期発見に努めています。

< 献血ボランティア >

年に二回、献血車を招いて、社内献血を実施しています。献血前の検査データは、健診後の生活習慣改善状況を知る手段としても活用されています。

< 社内分煙対策 >

喫煙時間を休憩時間に限っています。また、喫煙所を設ける事で社内完全分煙化を実施しています。

< 広報活動 >

- ・社内報でコラムとして健康情報欄を設け、情報を掲載しています。
- ・2ヶ月に一回健康新聞を配信しています。
- ・相模原市の保健師と協力をし、市内で実施予定の健康づくりイベントの社内案内を出しています。
- ・社内人事課ホームページに健康情報欄を設け、定期的に更新しています。

< 健康支援 >

精神科医と内科医が各々毎月一回来社し、健康に不安を抱える社員の相談に乗り、病院紹介等の処置などに応じています。

< 産業保健推進委員会 >

神奈川労務安全衛生委員会下部組織の産業保健推進委員会相模原支部に参加し、地域の産業保健活動の情報交換、相模原市との協力・連携を推進しています。

< おわりに >

仕事と健康づくりの両立は非常に難しい事です。仕事に支障のない範囲で、健康への意識づけが出来る様、今後も継続的に働きかけていきたいと思ひます。

